

東加積地区の主な提言等と進捗状況

提言等の項目	H24秋に開催した「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
野尻用水の落石対策	以前にも要望したが、落石で上大浦地内の用水が埋まるので防護ネットを張るなど対策をお願いしたはずだが、その後どうなった？	以前に要望があった際、市で現地を確認し、県治山班に連絡し現地を確認してもらいました。県の見解は、直ぐに崩れるような状況ではないので、用水受益者や地元で土のう等で食い止めるようにして欲しいというお話しでした。また、現地を確認いたします。
カーブミラーの設置	大日へ向かう道路が坂道でカーブになっており危険である。下大浦東のバス停付近にカーブミラーを設置して欲しい。	担当課で検討いたします。
食育	市長はよく食育と言っているが、どのようなことを行っているのか？	食育は学校や保育所などで行っており、給食場の栄養教諭や健康センター職員が講師となり、給食指導したり、生活科や家庭科などの授業で栄養教育や調理指導などを行っています。さらに、学校給食では、地元の米や野菜を給食に使う事業などを行っています。また、今年度からアレルギー食への取り組みも行っていきます。
手づくりで住みよい村づくり事業	毎年事業申請しているが一向に採択されない。何か要件などがあるのか？	本事業はH22年度で大日、三ヶ、四ツ屋、蓑輪の4町内へ交付しており、農道や用水整備を行っています。できる限り採択したいのですが、市の財源も限られており、中山間地等直接支払制度あるいは農地・水保管理対象事業の補助金を受けている地域については、該当する事業を活用していただき、手づくりで住みよい村づくり事業の対象外と内規で定めています。しかしながら、補助要件によっては農道整備ができないなどの不都合もあるので、来年度に向け、事業の要件や内規を担当課で検討します。
防災ラジオの配布時期	配布方法や代金の支払い方法は怎么样了？	12月25日頃の配布予定となっています。配布方法や支払方法は、町内会長を通じご連絡申し上げます。
元気なまちづくり推進事業	町内の役員をしており、夏祭りなどで活用し非常に好評であった。この事業は今年度で終わり、来年から新たな事業で実施するとのことだが来年度の事業は決定したのか？	元気なまちづくり推進事業に終期は定めておらず、3年間で一度事業の見直しをしますという意味でございます。今後、助成の規模や要件等を見直し予算要求をいたします。事業内容が決定すればお知らせいたします。
並行在来線	現在の状況は？	県や市町村で構成される並行在来線協議会で今年度中に最終的な経営計画が取りまとめられます。未定な部分もありますが、最小限の値上げをしたとしても赤字が見込まれるので最低でも現在の料金の1.25倍の水準になるだろうと聞いています。また、通勤や通学の定期券料金などの問題もあり、詳細について検討されている状況です。8月に報道されたとおり並行在来線の準備会社が設立して社員募集や社員教育を行っており、来年の夏には増資して運営会社が設立する予定となっています。その頃には正式な運賃体系や運行計画が示される見込みであり、H26年度に開業することになっています。また、新駅についても協議されており、滑川市も市議会とともに市民にとって利便性のある新駅を設置したいと考えており、候補地の調査等を行いながら要望してまいります。
伝統行事	お盆に送り火をしているが、わらの調達に困難になってきている。町内などで昔から行われている伝統行事を残していくための施策を考えてほしい。	「ねぶた流し」もわらを必要としており、シルバー人材センターに依頼して確保していると聞いています。町内などで行われている伝統的な行事は、だんだん少なくなってきたり、一度やめてしまうと二度と行われなくなりますので何とか残していきたいと思っております。また、昔の人が営んできた伝統や文化を子どもや親に伝えたいと考えています。今年は一部地域の行事をDVDなどに録画することを行っています。
耐震化工事	市が行っている耐震化工事は来年中に終わるのか。また、一般の住宅に補助はありますか？	現在、約10億円をかけて田中小学校と寺家小学校の耐震化を進めています。一般財源もありますが国補助金や起債などでも賄われます。市庁舎、市民大ホールや市民会館も実施予定であり、基本的には来年度中に耐震化工事は終了する予定です。また、一般の住宅については、耐震診断に対して県の補助があり、耐震診断に伴った耐震工事についても県が1/3、市が1/3の負担で合わせて限度額60万円の補助がございます。

東加積地区の主な提言等と進捗状況

提言等の項目	H24秋に開催した「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
市庁舎	市庁舎を郊外に建設するようなことは検討していないのか？	市庁舎建設には多額の費用がかかり、建設費用を十分に積立てないと実現は困難であると考えています。昭和38年に現在の庁舎を建設していますが、劣化しておらず、あと40年程は大丈夫との診断結果により耐震化を行うことに決定しました。
陸砂利業者	いたる所で陸砂利を採取しているが、市道などの生活道路を使用している。規制はできないのか？	地下水の涵養力がなくなることや地耐力がなくなる恐れがあるので規制していかなければと考えており、県の河川課にも要望しています。しかしながら、この事業は県の許可であり規制は難しく、今後も自然保護を訴え続けければ、規制がかかるのではと考えています。
消雪装置の設置	大崎野町内の道路は道幅も狭く、雪が積もると車のすれ違いが困難になる。また雪の捨て場も限られており消雪装置を設置していただけないか？	消雪装置の要望は他の町内からも多くございますが、地下水の枯渇や井戸水を使用している方の同意が得られないことにより市道の消雪装置の新設は見合わせている状況です。
天然ガスパイプライン	高速道路沿いに天然ガスパイプラインを布設しているが、安全性は大丈夫なのか？	昨年の春に事業計画の説明がありました。パイプラインは東日本大震災にも耐えており、安全性は高いと認識しています。事業計画に含まれる町内には地元説明会を行い同意を得るよう事業者に指導しています。
自作童話発表会	毎年、小学校が順番に自作童話発表会を行っているが、小学校に在学中に自分の学校で発表会が行われるよう毎年2校ずつ発表会を開催して欲しい。	子供たちの可能性を発掘することは、重要な教育の一環であると考えています。発表会の開催等については小学校校長会で決めていますので、ご意見を伝えます。